

いのちまもる キャラバン行動ニュース

第2号

2013年9月13日

日本医労連

TEL : 03-3875-5871

FAX : 03-3875-6270

いよいよキャラバンスタート! 全国で続々!!

9月7日

9月7日、全国で「いのちまもる地域キャラバン行動」が一斉に開始しました。各県からの報告をご紹介します!



静岡県医労連から

「勤務環境の改善を求める 意見書」静岡県が採択!

県看護連絡会（県医労連、静岡自治労連医療部会、静岡厚労、県民医連で構成、約1万人）は、白衣姿で県議会各会派への要請を繰り返し行ってきた結果、静岡県が意見書を採択したと県医労連ニュースで報じました。ニュースは県が「住民が質の高い医療を受けられることができるよう、勤務環境の抜本的な改善を図るための対策を講ずること。看護職員を増員し、不足を解消すること。」と明確に記したことは画期的だとしています。



白衣姿で署名行動～静岡新聞が報じる～

7日の署名宣伝には全医労富士支部・静岡神経医療センター支部、健保労組三島支部、全労災、民医労、聖隷労組から25名と静岡自治労連の仲間15名が参加、12時10分から40分の間、静岡市青葉イベント広場付近で行い、短時間にもかかわらず258筆の署名を集めました。マイクの呼びかけに子供連れやお年寄り、学生など幅広い年代が、笑顔で署名に協力して頂きました。参加者は、反応の良さに目標達成への自信を深めました。



神奈川県医労連から



100筆署名チャレンジャー 登録受付中！！

神奈川県医労連では、神奈川労連大会の昼休みに、土谷委員長を先頭に東神奈川駅等で署名宣伝行動を実施し、13名が参加しました。参加者は日本医労連の街頭宣伝用の原稿も活用し、思い思いの現場の声を訴え、初日は1時間弱で143筆集めました。街頭からは「私は看護師。絶対増員が必要。だって患者さんにゆきとどいた看護ができていないもん。それどころか、今のアナウンスにもあったけど、安全も危うい。自分が医療事故の加害者にならないようにと願うのみ。病院にもこの署名は届きますか?」、「運動に賛成する。いくらでもカンパするから頑張っ。国や県に物申さない」と。など力強い応援の言葉を頂きました。この内容を岡部副委員長が県労連大会でも発言しました。

すか?」、「運動に賛成する。いくらでもカンパするから頑張っ。国や県に物申さない」と。など力強い応援の言葉を頂きました。この内容を岡部副委員長が県労連大会でも発言しました。

山口県医労連から



山口県医労連は道場門前商店街で20人の参加で署名宣伝活動を行いました。小雨の中でしたが、約100筆の署名を集めました。弁士には中村鈴枝執行委員長が立ち、アーケードを通りかかる人々からは（特にご年配の方が多く）「頑張っして下さい」等の声が寄せられました。



東京医労連から

都立病院等の仲間と構成する東京医療関連協は、午後1時半から3時まで有楽町丸井前で白衣宣伝・署名行動を行いました。山田真巳子中央執行委員長をはじめ日本医労連本部も参加。全体で50名が参加しました。新聞2社から取材も入り、街頭では看護師が次々とマイクを握り、職場の実態をアピール、東京医労連看護闘争委員会で発行した「看護師が足りません」リーフなども配布しました。この日は、署名337筆、都立病院の充実求める署名227筆、計564筆が寄せられました。

